

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	代表取締役 柳澤秀樹	法人・事業所の特徴	<p>1.【個別ケア】ひとりひとりが歩んでこられた人生への理解と共感に基づき、自立支援を基盤としたケアを行います。</p> <p>2.【認知症ケア】認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切に、安心して過ごせる居場所と関りを提供します。</p> <p>3.【看取りケア】穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちが迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族様に寄り添い支えます。</p> <p>4.【地域ケア】住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように、各組織や地域住民の方々との連携を図り支えます。</p>
事業所名	あったかほーむ桜花	管理者	所長 小林孝章		

出席者 (構成)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>*新型コロナウイルス感染症で前回の計画の取り組みができなかったため、引き続き改善計画を忘れないように、毎月の会議の中で改善計画を読み上げ意思統一を図る。</p> <p>*途中経過を評価して、必要に応じて報告を行う。</p> <p>*自己評価についての説明を行い、解釈の統一を図る。</p>	<p>*改善計画の配布を職員に行い、途中経過の評価は会議の参加者が少なく短時間の中で行ったため、意思統一が図れたか疑問が残った。</p> <p>*自己評価についての内容説明を行い解釈の統一を図ったが、まだ理解不足の点が見られた。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍で計画の取り組みが思うようにできないが、引き続き改善計画については毎月の会議の中で内容を読み上げ意思統一を図る。また、途中経過についても評価して報告を行い、意見を出してもらおう。</p> <p>*再度、自己評価については説明を行い内容・解釈の統一を図る。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>*コロナ禍で引き続き、地域の方々に気軽に立ち寄れる環境作りを施設として構築する。(手段として現在は、地域の方に対し回覧板等で連絡をして施設のアピールをする。)</p> <p>*コロナ禍なので状況を見ながら、「お茶会」「夏祭り」及び保育園児の立ち寄りなどを実施。</p>	<p>*今年度もコロナ禍で、お茶会・夏祭り(区育成会と合同)など全ての行事が中止となり、保育園児の立ち寄りも含め地域の方に参加してもらえなかったが、地区の中は回覧板で施設発行の新聞を廻してもらいアピールを行った。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*玄関や施設内の飾り付けに考えて、落ち着いた環境づくりを行う。</p> <p>また、コロナ状況を見ながら、小学校や保育園に呼びかけ、小学生・保育園児の立ち寄れる環境づくりを行う。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら介護予防教室への参加及び具体的な困りごと例内容を記載して回覧で回して相談を募る。 *コロナ禍で状況を見ながら地域公開講座やお茶会・夏祭りなど再開時には交流を深め、参加された方々にもアピールして気軽に相談できる施設を目指す。また、回覧板を回して頂くようになったので、引き続き地域の行事を把握して参加をする。</p>	<p>*今年度もコロナ禍で、地域公開講座や地域の行事やイベントも中止になったため交流が無く、直接の相談はなかった。 *地区の回覧板も施設にも回して頂くようにしたが、行事も中止になり参加できなかった。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*引き続きコロナ禍で状況を見ながら、地域のイベントへの参加及び施設新聞や困りごとの相談など、回覧板で施設の様子を知らせ相談等も受ける。また、地域公開講座やお茶会・夏祭り・イベントなど再開時には地域の方々に参加をしてもらい交流を深める。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>*コロナ禍ではあるが、引き続きご家族及び訪問時やケア会議などで、近所・民生委員の方から情報をもって共有をし、更に社協・地域包括支援センターと連携を図って取り組んでいく。 *コロナ禍で状況を見ながら地域の行事やイベントの情報収集をし、スタッフの勤務調整をして参加をする。 *コロナ禍ですが、近隣の花見学など人数制限をして行う。</p>	<p>*今年度もコロナ禍で、訪問時など直接近所・民生委員の方との接触が無かったが、必要時は電話で情報など共有することができた。 *地域の行事やイベントも中止になったためスタッフの参加もできなかった。 *新型コロナ感染の緊急事態宣言解除を見計らって、高峰高原やパラダへ少人数でドライブに出かけることができた。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*ご家族及び訪問時やケア会議などで、近所・民生委員の方から情報をもって共有をし、更に社協・地域包括支援センターと連携を図って取り組んでいく。 *コロナ禍で状況を見ながら地域の行事やイベントの情報収集をし、スタッフの勤務調整をして参加をする。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、運営推進会議開催時はスタッフも出席できるように勤務調整を行い現場の意見を出してもらうようにする。 *民生委員等から地域の中で心配な方や困っている方はいないか、運営推進会議用の報告資料配布時に確認を行い検討できるようにする。</p>	<p>*今年度もコロナ禍で、運営推進会議の開催が中止となりスタッフの出席もできなかった。 *地域の中の利用者様について相談があり情報共有を行った。なお、心配な方や困っている方の相談は無かった。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、運営推進会議開催時はスタッフにも交替で出席してもらう。また、新しい委員もいるので施設見学や状況報告及び課題等についても検討をしていく。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>*コロナ禍で状況を見ながら、災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）して実施を行う。 また、引き続き災害時等の非常食の備蓄状況の確認をし、支援できる体制を進める。 *消防訓練は年2回実施、うち1回は夜間想定をした緊急電話連絡等の訓練を行う。 また、推進委員等にも案内をして参加していただく。 *夏祭り等のイベント再開時には施設内を見て頂き、防災・災害時の対応に繋げる。</p>	<p>*コロナ禍であったが、5月に災害訓練（非常持出し・備蓄品等の確認）及び年2回消防訓練（消火・避難・通報訓練）を実施し、夜間想定 of 緊急連絡も行った。 *新型コロナ感染で、市の消防署から指導等は4月の1回となり、地域の消防団・推進委員・施設近隣への要請はしなかった。 *夏祭りも中止のため、施設内の見学や防災・災害時の対応に繋げることができなかった。</p>	<p>*【今年度も新型コロナウイルス感染症で外部評価を実施出来なかったため意見の記載なし。】</p>	<p>*毎年災害訓練（噴火・風水害・地震等を想定）及び災害時等の非常食の備蓄状況を確認する。 また、消防訓練は年2回実施、うち1回は夜間想定をした緊急連絡網で連絡を行うようにする。（区長・消防団・推進委員等にも参加していただく）</p>
----------------------------	--	---	--	--